

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

〒378-0005 群馬県沼田市久屋原町 340-3
特定非営利活動法人手をつなごう
理事長 田中 志子 印
TEL 0278-25-9082

1 事業実施の成果

①いきいきトレーニングセンター

高齢者が介護予防のためのトレーニングを実施しながら、地域との交流を図るための場所を提供している。運動をするために通うこと(外出すること)を通して、高齢者の引きこもりを防止し、地域との交流や情報交換を図る接点を担う目的で運営していたが、緊急事態宣言により、4月14日から6月30日まで一般会員の利用を休止。

三密を回避し、感染対策を講じながら地域住民の健康づくり・高齢者の介護予防目的で健康教室を実施。

7月1日から9月30日まで、予約制と利用時間制限を設けながら、一般会員の利用再開。(9月30日をもってNPOとしての運営を終了とし、同グループ内の社会福祉法人に移行となった。)

緊急事態宣言解除後、段階的に再開したが、身体機能の低下以上に交流ができなかったことによるストレスや新型コロナウイルスへの不安が増幅していた印象。再開を機に、徐々に安心感と健康維持への意欲が増し、通いの場の重要性を改めて感じた。

②いきいきラウンジ活動事業

「生きがいづくり」「趣味活動の場」「仲間づくり」「高齢者が講師やボランティアを担う事で、地域での役割を担い、生きがいを創出する環境づくり」を目的として企画・運営のサポートを実施。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一時は活動を中止した。しかし、地域の方々に少しでも活動の場を提供しようと感染予防対策を徹底しながら、開催する教室を限定し、人数も制限しながら継続してきた。

また「短歌教室」は通信制での実施も試みた。参加者には紙面発表ではあるがステイホームでもできる楽しみの1つとなった。

令和2年12月より「みんなの体験スクール」として運営主体を同グループ内の社会福祉法人に移行した。参加者には新たな場所でのスクール活動に理解と協力を求め、定着を図っている。

③利根沼田医療福祉勉強会事業

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、会議及び勉強会を予定通り開催することができず、会議3回・勉強会2回の開催となった。

勉強会は、新型コロナウイルス感染対策で、新たな取り組みとなるオンライン開催となった。11月13日は沼田利根医師会との共催で「ほほえみノート活用術オンラインセミナー」を開催した。ほほえみノートの活用や医療と介護の連携、ACPについて多職種のパネリストがディスカッションを行い、今後の課題について話した。参加者にも好評いただいた。

また、3月24日には前年度開催を見送った「新規格コネクタ取扱説明会」をオンライン上にて開催した。看護職員・介護職員を中心に多くの方にご参加いただいた。オンライン研修の運用について参加費徴収や課題が残る研修会となり、次年度に活動に活かしていきたい。

④木漏れ日の会事業

勉強会・研修会は新型コロナウイルスの緊急事態宣言に伴い中止。「とね・ぬまたお助け便利帖」の更新及びそれに伴うにホームページのリニューアルを計画したが検討に留まっている。

また当初計画をしていた福祉従事者向け「共生社会を実現するために」介護保険と障害者総合支援法について(第2回) 障害者の特性について学ぶ。特性(精神疾患別、知的障害、発達障害等) 勉強会と一般市民向け「ひきこもり」私たちにできること 第2弾利根・沼田地域で当事者や支援者を対象とした研修会も延期となっている。

⑤いきいき工房みんなの家事業

地域の方々の交流の場、学びの場、遊びの場を目的に教室活動と自主活動団体の部屋の貸し出しを実施した。新型コロナウイルスの感染防止のため5月まで部屋の利用を中止していたが、6月から感染予防対策を図り、教室活動と部屋の貸し出しを再開した。教室活動は3教室、部屋利用団体は昨年度から引き続き4団体が利用した。計画していた3回のイベントはすべて感染防止のため中止となり、今年度の利用延べ数は昨年度に比べ3分の1に留まった。部屋利用者を増やしていくため、みんなの家を紹介する動画を制作し、グループ内施設のスクリーンやSNSを活用し配信した。

⑥ぴあ友の会事業

障がいを持つ子供の親の相互交流や情報交換の場の提供を目的として、月に1回程度の集いを開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大により4月、5月は中止し、6月より再開。自粛期間は生活への不安やストレス、子供と過ごす時間も普段より多くなったことで育児のストレスなど悩みが多くなった。再開したことにより、孤独になってしまいがちな親への相談の場・癒しの場が提供でき、会の必要性を感じた。

キャラバン隊活動の講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とし、準備のみとなった。

⑦利根沼田まち・ひと・しごとづくりセンターささえあい事業

●わがこと・まるごと相談所

利用件数と協力機関の拡大のために、活動を地域に広く知っていただくため広報活動を強化。ケアマネや相談支援員、民生委員へ定期的に実績報告を兼ね周知。公民館や人の集まる場所へリーフレットや電話の前に貼ってもらう A6 チラシを作成し、関係機関へ郵送した。協働機関登録実績 19 件、利用件数：相談 14 件・解決実績 4 件(協働機関につながった案件)

●気軽に外出できる移動支援

「群馬県新たな移動手段の導入支援事業」に申請し、沼田市と協働で実証実験を実施した。実証実験実施に向けて、住民代表等へのヒアリングや事業説明会、協力企業の事業説明等を行い、10月19日より実証実験開始。しかしながら、11月28日新型コロナウイルス感染症による警戒度レベル3に引き上がったことを受け、運行を休止した。群馬県と沼田市と協議の上、休止期間の代替として期間の延長を決定。3月23日、警戒度レベルが2に引き下がったことを受けて、運行を再開。運行期間も令和3年6月末日まで延長することとなる。

⑧認知症高齢者と家族への支援と地域作り事業

ア. 認知症ネットワークメール配信

不明事故があった場合、沼田警察署より依頼があったら速やかに検索依頼メールを作成し一斉送信する。メール配信は必要に応じ対応でき、検索活動に貢献できた。あ

イ. 命の宝探し（模擬徘徊訓練）

沼田市社会福祉協議会と共催し、小学生や地域住民の皆様に認知症の方への理解を求めるために、各小学校を訪問し、事前学習（講話）と、模擬訓練を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年度は環境整備期間とし、SOS ネットワーク協力者の現状確認、新規加入の促し、認知症理解への啓発パンフレット作成、協力、みまもりあいステッカーの検討など来年度活動への準備をした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
健康増進施設の運営事業 (いきいきトレーニングセンター)	地域住民に対し健康づくりの場、交流の場としてトレーニングセンター(運動する場)の提供。	R2. 4～9	沼田市 久屋原町	4名	利根沼田地域利用者延べ人数 1,630人
生きがいくつくり・仲間づくり事業(ラウンジ活動)	毎月定例の活動として実施。(誰でもお茶会・短歌教室・書道教室)	R2. 4～ R3. 3	沼田市 久屋原町	3名	参加者 延べ人数 1,371名
医療・福祉関係者の知識・技術向上事業 (利根沼田医療福祉勉強会)	①「ほほえみノート」活用術オンラインセミナー ・沼田利根医師会との共催。シンポジウム形式のオンラインセミナー。ほほえみノートの利用推進や有効活用についてディスカッションした。	R2. 11. 13	オンライン	13名	参加者 40名
	②新規格コネクタ取扱説明会 ・オンライン研修会。経管栄養の新規格コネクタの取扱いや注意点について講演。	R3. 3. 24	オンライン	10名	参加者 182名
高齢者・障がい児に関する調査、研究、研修事業(木漏れ日の会)	『とね・ぬまたお助け便利帖』の更新及びそれに伴うにホームページのリニューアルの検討。 来年度、活動10周年になるため記念行事の計画の検討。	R2. 4～ R3. 3	沼田市の 福祉施設	2名	運営会議 参加者10 名
障がい児の親の交流・情報交換および障がい者への理解啓発事業(ぴあ友の会)	障がいを持つ子供の親の相互交流や情報交換の場の提供を目的として月に1回程度の集いを開催。 また、障がい児とは?を知っていただく活動としてキャラバン隊活動の準備継続。	R2. 4～ R3. 3	沼田市 久屋原町	1名	参加者延 べ人数 18名

地域連携や協働を行い地域の困りごとを解決するためのコーディネート事業 (利根沼田まち・ひと・しごとづくりセンターささえあい)	●わがこと・まるごと相談所 ・活動を地域に広く知っていただくための広報活動を強化。広報ぬまた、マイタウンたにがわに各3回の広報の実施。公民館や人の集まる場所へリーフレットや電話の前に貼ってもらう A6 チラシなどを作成し配布。	R2.4～ R3.3	沼田市久屋原町	7名	相談者・協働機関 延べ人数 60名
	●気軽に外出できる移動支援 ・実証実験に向けた準備(4月～9月) ・県・市・当法人との3者協議 ・地域住民との検討会(8月) ・実運行(10月19日～11月28日、3月23日再開)	R2.4～ R3.3	沼田市内 モデル地区	5名	沼田市内 モデル地区住民 関係企業等 延べ50名
認知症高齢者と家族への支援と認知症のある人にやさしい地域作り事業	高齢者の徘徊SOSネットワークのモバイル一斉送信。		事務所	1名	行方不明者3名および家族
	小学生を対象とする事前認知症学習。 (小学1～6年生の児童対象)	中止	各小学校	1名	
	認知症高齢者模擬徘徊訓練。 (下校時間：小学1～6年生の児童対象)	中止	各小学校	1名	

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

- ① 日時、場所、令和2年5月21日 午後5時30分 当法人事務所
- ② 議題 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支決算書付議の件
議事録署名人の件

(2) 理事会

ア 理事会

- ① 日時、場所、令和2年5月21日 午後5時 当法人事務所
- ② 議題 令和元年度決算の件
令和2年度予算(案)の件
令和3年度事業計画(案)の件

